

令和5年度「データサイエンス入門」自己点検・評価

長崎県立大学全学教務委員会／データサイエンス教育専門部会

自己点検の視点	令和5年度自己点検
プログラムの履修・修得状況	令和5年度における本プログラム科目「データサイエンス入門」の履修者は762名であった。実施2年目となり、担当教員の変更などもあったが、前年度の実施方法に関する検討内容や実績などを踏まえながら各学科で引き続き授業を実施し、最終的な修得者は725名（95.1%）であった。
学修成果	前年度の実績を踏まえ、引き続き各授業回の確認テストについては原則として再提出を可能とし、理解するまで何度でも取り組むことを奨励した。授業評価アンケートにおいてもこの点が非常に良かったという声もあり、学修成果の定着に一定の効果が見られたと考えられる。期末テストの平均点は全体で94.7点となり、昨年度平均93.8点を上回った。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	授業評価アンケート回答者のうち82.3%が到達目標を「大いに達成できた」又は「ほぼ達成できた」と回答している。また、身についたと思う力として「情報技術（ICT）運用力」を選択した学生は回答者のうち62.5%であった。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	授業評価アンケートにおいて「この科目を他者に薦めたいと思うか」という項目に対し「薦める」又は「やや薦める」と回答した学生は回答者の95.8%であり、その理由として「様々な内容を学ぶことができる」「これから必要になるスキルである」等の記述が多く見られた。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	令和4年度以降の入学生は全ての学科で必修となっているため、前年度に引き続き、休学等の理由がある者を除き原則として令和5年度新生入生全員が受講している。なお、2年生以上の再履修者は29名で、うち18名が今年度単位を修得した。
令和5年度自己点検に対する評価	全学必修科目として2年目の実施となり、受講者数、修得者数ともに順調に進捗していると考えられる。期末テストの平均点も継続して90点を超えており、一定の成果定着もみられる。「情報技術（ICT）運用力」が身についたと実感できる学生が増えるよう工夫しながら次年度以降も継続して実施していく。